



自民党

第33代・第34代環境大臣



あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

総選挙の結果を踏まえて

史上最大の勝利

2月8日挙行の第51回衆議院選挙は、自民党にとり史上最大の勝利という結果に終わりました。自民党単独で憲法改正の発議が衆議院で可能となる3分の2の310議席を超える316議席を獲得し、日本維新の会の36議席を合わせると465議席中、352議席を獲得したことになります。実は、自民党は比例区での立候補者が足りずに、14議席も他党に譲ることになりましたので、本来なら単独で330議席を獲得していたほどの勝利でした。

責任ある積極財政への期待

これほどの大勝利は、2005年の郵政民営化選挙、2009年の政権交代選挙、2012年の第二次安倍政権選挙でもありませんでした。選挙前にここまでの大勝利を予測できなかったからこそ、比例区での候補者が足りなくなってしまったのです。大勝利の要因は何でしょう。おそらくデフレからインフレ経済へと変わる中、若い世代を中心に幅広い層の方から責任ある積極財政への期待が高まっていたからなのでしょう。また、我が国周辺の外交・安全保障環境に対する不安とそれへの対応を求める有権者の声をうまく拾えたことも勝利の要因でしょう。

再起を期される方には
党派を超えてエールを！

もちろん、勝者もいれば敗者もいます。私自身、落選し、長い浪人生活を体験しています。ですから落選されて再起をかける方々には党派を超えてエールを送りたいと思います。同時に、自民党としては大変大きな付託を頂いたからこそ、高市政権として結論をしっかりと出す政治で日本を前に進める必要があります。期待が大きければ失望も大きくなりますし、その反動は次の選挙で必ず来るものです。

着実に謙虚に結果を出して
有権者の付託に応える必要

責任ある積極財政の下で、物価高を上回る賃金上昇を実現すること。そのこと一つとっても簡単なことではありません。日本全体の生産性を引き上げる未来への投資が花を咲かせるのは短期的に実現できることではありません。その間、手取りを増やす方策をしっかりと実現していくことが肝要です。着実に謙虚に結果を出していくこと。それに専心することが有権者の今回の付託に応えることであるのは間違いありません。誠心誠意、政策実現に向けて頑張ってください。

第33代・第34代環境大臣 浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiroASAOX
twitter.com/
asao_keiichiroYouTube
youtube.com/
user/
asaokeiichiro



自民党

第33代・第34代環境大臣



あさお 慶一郎

何度でも
チャンスのある社会を

今月の提言

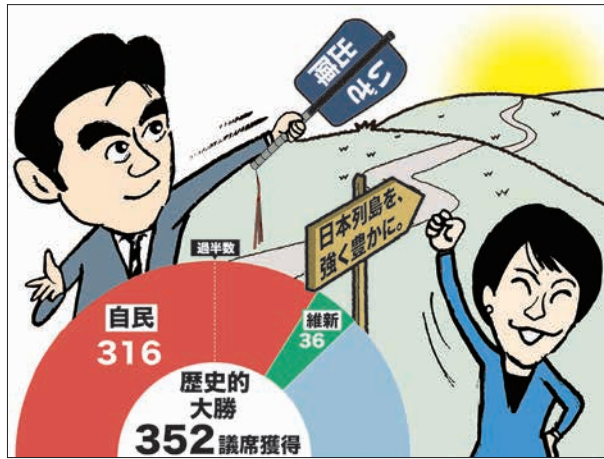
総選挙の結果を踏まえて

史上最大の勝利

2月8日挙行の第51回衆議院選挙は、自民党にとり史上最大の勝利という結果に終わりました。自民党単独で憲法改正の発議が衆議院で可能となる3分の2の310議席を超える316議席を獲得し、日本維新の会の36議席を合わせると465議席中、352議席を獲得したことになります。実は、自民党は比例区での立候補者が足りずに、14議席も他党に譲ることになりましたので、本来なら単独で330議席を獲得していたほどの勝利でした。

責任ある積極財政への期待

これほどの大勝利は、2005年の郵政民営化選挙、2009年の政権交代選挙、2012年の第二次安倍政権選挙でもありませんでした。選挙前にここまでの大勝利を予測できなかったからこそ、比例区での候補者が足りなくなってしまったのです。大勝利の要因は何でしょう。おそらくデフレからインフレ経済へと変わる中、若い世代を中心に幅広い層の方から責任ある積極財政への期待が高まっていたからなのでしょう。また、我が国周辺の外交・安全保障環境に対する不安とそれへの対応を求める有権者の声をうまく拾えたことも勝利の要因でしょう。

再起を期される方には
党派を超えてエールを！

もちろん、勝者もいれば敗者もいます。私自身、落選し、長い浪人生活を体験しています。ですから落選されて再起をかける方々には党派を超えてエールを送りたいと思います。同時に、自民党としては大変大きな付託を頂いたからこそ、高市政権として結論をしっかりと出す政治で日本を前に進める必要があります。期待が大きければ失望も大きくなりますし、その反動は次の選挙で必ず来るものです。

着実に謙虚に結果を出して
有権者の付託に応える必要

責任ある積極財政の下で、物価高を上回る賃金上昇を実現すること。そのこと一つとっても簡単なことではありません。日本全体の生産性を引き上げる未来への投資が花を咲かせるのは短期的に実現できることではありません。その間、手取りを増やす方策をしっかりと実現していくことが肝要です。着実に謙虚に結果を出していくこと。それに専心することが有権者の今回の付託に応えることであるのは間違いありません。誠心誠意、政策実現に向けて頑張ってください。

第33代・第34代環境大臣 浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院 (MBA) 修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選 (2期目)
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選 (2期目)
平成26年 衆議院議員選挙当選 (3期目)
令和4年 参議院議員選挙当選 (3期目)

浅尾慶一郎
事務所

鎌倉事務所

〒247-0056 鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682 FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website
asao.netFacebook
facebook.com/
keiichiroASAO

X

twitter.com/
asao_keiichiro

YouTube

youtube.com/
user/
asaokeiichiro

逗子の今と未来を語る

参議院議員のあさお慶一郎がMCを務め、地域を熟知する逗子市議会議員の皆さまとともに、逗子市の「今と未来」を展望する特別対談を実施しました。現場の視点から逗子市の課題と可能性についてお話しいただきました。

あさお：今日は、逗子自民党市議団の皆さまにお集まりいただきました。まずは、それぞれの活動現場から見える逗子の現状と課題について伺いたいと思います。

防災と地域コミュニティ：消防団の重要性

桐ヶ谷 一孝
神奈川県商工会青年部連合
会第17代会長
・逗子消防団第二分団分団長



桐ヶ谷さん：私は35年近く消防団に携わってきましたが、近年、防災のあり方が大きな転換期を迎えていると感じます。特に激甚化する局地的な豪雨では、市が避難所を早期に設営しても、実際に市民が「避難行動」に移らなければ意味がありません。空振りを恐れずにいち早く情報を発信し、いかにツールを駆使して市民に届けるかが喫緊の課題です。また、全国的な課題でもある団員の減少と高齢化は逗子も例外ではありません。私は「自助」と行政による「公助」を繋ぐのは、地域に根ざした「共助」の象徴である消防団だと考えています。「自らの地域、家族は自らで守る！」と意識をして、消防団活動の認知度を再び高めることで、逗子市の防災力を底上げしていく必要があります。

あさお：担い手不足は深刻ですね。逗子市長からの提案を受け、長年貢献された方の住宅ローン金利優遇を検討するよう神奈川信用金庫へ働きかけています。公的貢献を社会的に評価する仕組みがつくれればと考えています。

インフラ老朽化と地場産業の再生

丸山 治章
筑波大学大学院人間総合科
学研究所修士
・逗子市議会 第63代議長



丸山さん：私は長年の経験から、財政とインフラ、そして伝統ある地場産業の維持についてお話しします。現在、逗子市の財政は一定の積み増しができていますが、公共施設の老朽化が大きな壁となっています。特に市内8校中6校の小中学校が築約50年を経ており、



建て替えの優先順位を「待ったなし」の状況で決めなければなりません。そして、逗子の唯一の第一次産業である小坪の漁業は深刻だと考えます。水揚げ量は平成元年の466トンから令和5年の81.3トンへと8割も激減しました。漁師の収入が減少し、後継者不足に拍車がかかっています。池子住宅地区の全面返還をめざすといった長期的課題とともに、今まさに目の前にある第一産業をどう守り抜くか。都市部であっても農業や漁業が息づく逗子の文化を絶やさないための、実効性のある支援が不可欠です。

あさお：漁業再生には、漁港を多角的に活用する「海業」が鍵です。漁師さんが副収入を得られるモデルを全国に先駆けて逗子で実現するため、調査予算を確保し、産業振興と担い手育成を一体で支援してまいります。

都市計画の再整備：空き家と交通の課題

八木野 太郎
昭和55年逗子生まれ逗子育ち
・自民党逗子支部幹事
・逗子市議会副議長



八木野さん：昭和40年代の宅地造成ピークから半世紀、家屋の寿命とともに空き家問題が表面化しています。大きな障壁は相続問題です。親族と連絡が取れないために解体や売却もできない物件が増え、行政の強制力にも限界があります。これはセットバック（道路後退）

が進まない原因にもなり、消防車などの緊急車両が通行できない防災上の懸念にもつながります。一方で、逗子にはコロナ禍を経て移住を希望する方が増えており、需要は確実にあります。地域環境を守るための分割制限と、新たな移住を促す利活用のバランスをどう取るか。地方議員として現場の複雑な調整を丁寧に行って、逗子市を魅力ある「住みたい街」としての構造づくりを進める決意です。
あさお：法整備は国、現場の調整は市議の皆さまと、密な連携が重要です。国と市が一体となり、逗子のポテンシャルを最大限に引き出していきましょう。

あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助 会員募集

「あさお慶一郎君を応援する会」では、あさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』(5,000円/年)*の募集を行っております。ご入会の方に、鎌倉彫の伝統継承者 三橋 謙幽 氏がデザインした『2026年干支「午」』のオリジナルピンバッジをお渡しします。

*後援会組織「あさお会」は無料。年会費はありません。



自民党员募集中!!

入党 資格

1. わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
3. 他の政党の党籍を持たない方

※ご入党いただける方は、下記にご記入いただき、浅尾事務所までご連絡願います。「入党申込書」をお送りさせていただきます。

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください	フリガナ	電話番号
<input type="checkbox"/> 特別賛助会員	お名前	E-mail
<input type="checkbox"/> ポスターの掲示ご協力 *自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください		
<input type="checkbox"/> 自民党入党希望	〒	—

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「<https://asao.net/>」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。